



核兵器のない未来へ！ 反核キャンペーン

2026



終戦から81年目の夏、8月4～6日に原水禁世界大会・広島、8月8～9日に原水禁世界大会・長崎が開催され、核兵器のない世界の実現を願う多くの方々が国内外から被爆地に集いました。全国青年部は平和行進に参加し、各地から届けられた千羽鶴を奉納するなど、反核平和のとりくみをおこないました。



「みんな地球人」子ども達
に平和な地球を♡
by 福岡学童保育支部



「人間が創造したものは
人間が廃絶できるはず」
by 埼玉・教宣文化社分会



広島市の平和記念公園へ千羽鶴を奉納する武田部長
(左)、関西支部の大野さん(中央)と山本さん(右)

北信越労職支部新潟農林
分会では、振動病患者さ
んのリハビリを兼ねて折
り鶴を製作。その数なん
と、1年で5千羽以上！



今年11月、国連本部にて「核兵器禁止条約(TPNW)第1回再検討会議」が開催されます。唯一の戦争被爆国である日本には、核廃絶を実現するための大きな役割が期待されています。「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」のとりくみを進め、平和への思いを政府に届けましょう。

長崎 敬朋墓前祭



「敬朋(けいほう)」には、
原爆により身寄りをなくし
た組合員の先輩方が眠
っています。長崎県本部
は毎年8月8日に墓前祭
を開催し、ご冥福をお祈り
しています

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の 署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつつあります。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏のよびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先
署名事務局(原水爆禁止日本協議会)
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
電話：03-5842-6031